

牧羊ひろば



大分福音キリスト教会 教会学校

●はじめに

当教会に私達（田代）の着任後、教会学校が再開して4か月が経ちました。これまでの様子を紹介します。

●学生会

前任の後藤師時代はJクラブという名で昔は水曜に、後半は月一度の子ども会の形で持っておられたそうです。

しかし、私達の着任後は継続できず、子ども教会学校がなく一年半が過ぎました。その間、日曜午後にはJクラブ出身の女子高校生の方との学生会がありました。お楽しみも

色々考えましたが、故森上先生が来てくださった時、その方が「聖書の続きが楽しみ」と話され、「そうか聖書が楽しいのか!」と原点回帰。それからは聖書を読み、賛美し、動画等を一緒に観たりして続いています。

教会では「教会学校が開かれるように」との祈りが積

まれていましたが、牧師夫人である筆者が産後疲れやすく、子どもが離れないこともあり、新たに教会学校を始めるのは牧師のやる気にかかっていると感じていました。又、会堂の一部が居住空間なので子ども達を迎えるにはそれなりの片付けと覚悟が必要と感じ、一年かけて片付けていきました。昨年二〇一四年秋は教会移転十周年で、新会堂を願う中、教会で「伝道せねば」との気運になりました。そんなある日、牧師夫婦の会話で、ある話題が出た時に、「その前にもつと死ぬ気で伝道してないとかんのんちゃう?」と妻。その次の役員会、田代師が「今年はこどもクリスマス会を開きます!」その後から教会学校を始めます!」と提言し、具体的に始まったのでした!

●こどもクリスマス会

12月6日こどもクリスマス会。子ども37名の出席。教会員の皆さんも焼き菓子やチャシ配布、看板作り、紙芝居と総出で協力くださいました。後藤師時代80人以上集ったことがあるそうで、70人分のお菓子を準備しまし

たが、この残ったお菓子が役立ちました。会に来なかった子どもが次の日教会に来て、お菓子を一つあげると、入れ替わり立ち替わりやって来たのです。今、教会に集う子達の多くは後でお菓子をもらった子ども達です。

● 第一回教会学校

クリスマス会の次の週の水曜日から月二回の教会学校が始まりました。牧師もはりきって賛美やプログラム、暗唱聖句を書いて準備しました。第一回には、クリスマス会に来た6年生2人と、後で教会に来た4年生1人が集いました。この6年生の一人Aちゃんと4年生のKちゃんが教会学校の核となりました。その後、Kちゃんは次々と友達を誘って来ました。第一回は松ぼっくりミニツリー工作をしました。その土曜日、低学年の男の子達が教会に遊びに来て工作を一緒にしました。この男の子達は放課後、預かり保育にいるため水曜の教会学校には来られません。冬休みには子ども達が毎日来ました。教会学校は、二月は0人の時も1人の時もあり、祈らされました。そんな中、Kちゃんが毎日のように18時頃まで教会にいるようになりました。弟のR君から親が

離婚したと聞きました。最初、姉弟とも情緒不安定な所もありましたが、来る度にとっても落ち着いてきました。

三月初めの教会学校は2分前まで誰も来ませんでした。「涙とともに種を蒔く者は」のみ言葉を思いながら、床に頭をつけて祈りました。と、時間になった時、わやわやと子ども達がやって来たのです！ Kちゃんが「友達呼びに行ってた！」と笑顔で入って来ました。10名の子どもで賑わいました。ところが、人数が集まるとまた問題も起きるもので、この日も6年のAちゃんが5年のKちゃんを泣かせて



3月の教会学校

しまい、Nちゃんが怒り、Aちゃんが来づらくなりました。また、涙して祈る日々でした。

●クレープパーティー

二月の終わり、春に子ども大会を開きたいとの願いが起こされました。6年生のAちゃんの卒業後、教会学校存続の危機を感じたからです。又、できれば、せっかくつながったAちゃんを核に中学生会を開きたいとの願いが起こされたからです。急遽、三月の役員会で決定しました。急な事で教会員の奉仕予定者は2名だけでした



クレープパーティ

が、Kちゃん達4、5年生がやる気になってくれました。

3月21日クレープパーティー。名簿によると99名の出席でしたが、会堂に入りきらず帰った子どももいて、実際は75名程の参加者でした。ゲーム・賛美・紙芝居、第二部はクレープ・綿菓子・ポップコーン。家庭用の綿菓子器を購入し練習する中で女の子達がスタッフ意識を持ち、当日自分達で朝十時に集合、下準備から本番まで大活躍でした。卒業生にはギデオンの聖書をプレゼント。持ち帰りお菓子には教会学校と中学生会の案内を付けました。後日、スタッフ慰労会をしました。次の週、男の子達が学校で「愛をください」を歌っていたそうです。

●春休み、中学生会スタート、教会員との交わり

よく来る子どもの中に家族が他の宗教に通っているMHちゃんがあります。家族にどんなに反対されても来ています。MHちゃんに一番反対していた双子の姉KHちゃんが春休みから、友人達の計らいで教会に遊びに来るようになりました！ またよく来る子どもの中3年の姉Sちゃんが春休みから集い、中1になったAちゃんと日曜午後4時から中学生会を開く事ができました！ 聖書

を読み、賛美をし、タコ焼きをします。四月時点で3回開かれました。Sちゃんも友達を教会に連れて来ました。四月には教会のお花見に7人の子ども達が礼拝から出席しました。将来の教会の担い手となりますように！

●賛美とみ言葉

ピアノを習っていない子ども達が教会の電子ピアノで大抵「ねこふんじやった」を弾くのですが、賛美を覚えたとすぐに「愛をください」を練習し始めました。教会



教会お花見

学校でも伴奏してくれました。片手でメロディーを弾くのですが、一人では不安で二人で弾くので和音です！

放課後、預かり保育で学校に残り、そこから帰って僅かの時間で

も教会に来る子ども達もいます。遊ぶ時間がない時、その週の暗唱聖句を覚えてガムを一つあげます。以前に覚えた聖句も最初から順番に言ってもらいます。大きな声で唱えながら帰って行きます。あらゆる機会にみ言葉が心に植えつけられていく様にと願います。

(田代美雪)



春休み 餃子作り